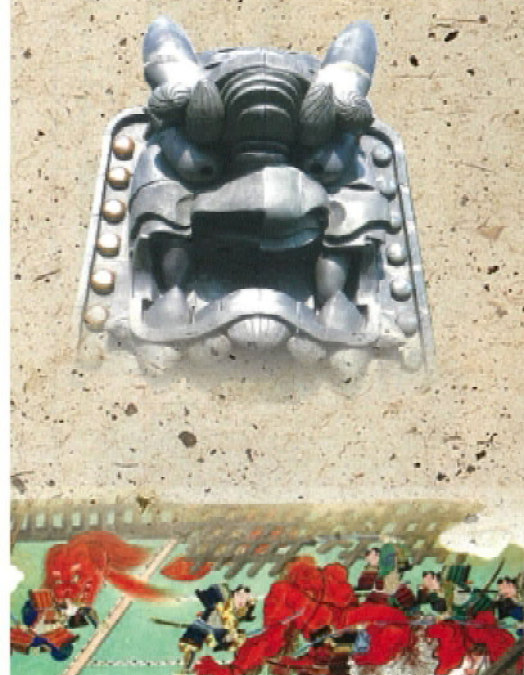


大江 鬼伝説



大江山 鬼伝説

大江山に伝わる三つの鬼伝説

大江山は、鬼の棲みかとして知られ、有名な酒呑童子の話を始め、三つの鬼退治伝説が伝えられています。

酒呑童子と琴姫
正徳元年(平安時代中期)、京の都を荒らしまわった大江山の鬼である酒呑童子(しゅてんどうし)が琴姫(かみひめ)に毒酒を飲まされ、騙し討ちにされた話。お伽草子などに表されあまりにも有名で、退治した頼光より退治された酒呑童子の方が有名になっています。

麻呂子親王と三人の鬼
用明天皇の時代、麻呂子親王(聖徳太子の異母弟)が三上ヶ嶽(大江山)を本拠に暮らしていた英胡(えいこ)、軽足(かろあし)、土熊(つちくま)という三人の鬼を退治した話。薬師信仰との関係が深く、北近畿地方一帯に多くの痕跡が残っています。

日子坐王と陸耳御笠
「丹後風土記残片」に表されている最初の鬼退治伝説。第10代崇神天皇の時代に日子坐王(ひこまわら)が陸耳御笠(くがみのみかさ)という土蜘蛛を退治した話。大和勢力による古代丹後地方勢力の吸収劇が隠されているのではないかともいわれています。

鬼飛岩と鬼の足跡
鬼飛岩は、鬼の見張り場所であるといわれ、音を知らせるため、対岸へ飛び降りた時できたのが「鬼の足跡」であると伝えられています。

頼光の腰掛岩
鬼退治をした頼光が腰を掛けたとされる巨岩です。

大江山鬼面公園
京都丹後鉄道大江駅にある公園です。中でも「屋根付き鬼の回廊」は、三洲・淡路・石州の鬼瓦に囲まれ、全国の鬼師(鬼瓦制作者)の鬼面瓦72個が屋根に並ぶ空々の姿を持っています。いろいろな形の鬼瓦を集めた鬼面瓦の回廊や、鬼の酒桶水など鬼一色で統一されています。

酒呑童子の里

大江山の自然と伝説の中で鬼たちと戯れる

雄大な大江山の麓にある「酒呑童子の里」は、春秋の登山をはじめ、夏の深流遊び、昆虫採集、キャンプなど林間学校や合宿に最適です。スポーツ施設や宿泊施設も充実しており、安全で手軽なアウトドアレクリエーションが楽しめます。自然を満喫できます。

大江山グリーンシロツツ
豊かな自然に囲まれてオールシーズン楽しめる。家族やグループにおやすみの宿泊施設です。「酒呑童子の里」と名付けられたお風呂は、絶景回廊にと好評です。クラブ舍宿や企業研修などに最適な宿泊施設です。テニスコートや(カーベキュー)広場もあり、家族やグループで楽しめます。

テニスコート
オムニコート6面、クレコート2面、ナイター設備もあります。

結団グラウンド
両翼80mのグラウンド。野球、サッカーなどができます。

キャンプ場
区画は12サイト。水道、トイレも完備しています。

日本の鬼の交流博物館
日本の鬼の交流博物館は、鬼まつわる全国各地の伝統芸能や鬼面瓦、また、世界の鬼面や仮面が展示されており「鬼とは何者なのか」について学ぶことができます。

大江山 連峰

大江山連峰(森林浴の森100選)

大江山は、千丈ヶ嶽(832m)を主峰とする錦塚(763m)、槍ヶ峰(746m)、赤石ヶ嶽(736m)からなる連峰です。山頂からは若狭湾、丹後半島をはじめ、空気の澄んだ天気の良い日は水ノ山や白山、奥山なども望むことができます。また、大江山を囲む地域は、2007年に丹後天立大江山国定公園として国定公園に指定されており、雲海の名所としても知られています。

鬼懸稲荷神社
大江山の八合目にあり、めずらしいブナの原生林に包まれひっそりとたたずむ赤い鳥居が印象的です。ここから見る雲海は特に素晴らしい眺めです。

鬼懸稲荷神社
大江山の八合目にあり、めずらしいブナの原生林に包まれひっそりとたたずむ赤い鳥居が印象的です。ここから見る雲海は特に素晴らしい眺めです。

水辺の広場
大江山の家の横を流れる川に整備された水辺広場は、小さな子供たち安心して遊べます。

あしぎぬ 大雲の里
由良川の穏やかな流れを眺めながら

二瀬川 溪流

二瀬川溪流(京都の自然200選)

奇岩と清流が織りなす風景は有数の美しさです。周囲には遊歩道が整備されており、春はマツツシやヒュウカミズキ、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々に楽しめます。

新童子橋
二瀬川溪流に架かる吊り橋で、ここから見下ろす景色は絶景です。

鬼懸稲荷神社
大江山の八合目にあり、めずらしいブナの原生林に包まれひっそりとたたずむ赤い鳥居が印象的です。ここから見る雲海は特に素晴らしい眺めです。

鬼懸稲荷神社
大江山の八合目にあり、めずらしいブナの原生林に包まれひっそりとたたずむ赤い鳥居が印象的です。ここから見る雲海は特に素晴らしい眺めです。

あしぎぬ 大雲の里
由良川の穏やかな流れを眺めながら

歳時記

| | | | |
|---|------------|----------|------------------|
| 春 | 鬼っ子マラソン | 3月下旬 | 大江町河守 |
| | 元伊勢の例大祭 | 4月26日 | 大江町内宮・天田内 |
| | オノ神の儀まつり | 5月上旬 | 大江町南有路 |
| 夏 | 大江山一斉登山 | 8月最終日曜日 | 大江山 |
| | 鬼力の由良川夏まつり | 8月第1土曜日 | 大江町河守 |
| | 元伊勢八幡祭 | 9月第1日曜日 | 大江町内宮・二俣・天田内 |
| 秋 | 大江山酒呑童子祭り | 10月最終日曜日 | 大江町河守/仏性寺 |
| | 福知山マラソン | 11月23日 | 市内/三谷地区 8km・10km |

花暦

| | | |
|---------|-----------|-------------|
| ヒュウカミズキ | 3月上旬~4月上旬 | 大江山(仏性寺) |
| 桜 | 3月下旬~4月下旬 | 在田川沿い |
| 桜・しだれ桜 | 4月上旬 | 樺づみ庭園、榎街道 |
| タムシバ | 3月下旬~4月中旬 | 大江山(仏性寺) |
| フジ | 5月上旬~5月中旬 | オノ神の森(南有路) |
| タニツツギ | 5月中旬~6月中旬 | 大江山(大江町仏性寺) |
| ノリツツギ | 6月下旬~8月下旬 | 室瀬谷山遊歩道 |
| あじさい | 6月中旬~7月上旬 | 大江山(大江町仏性寺) |
| ヤマアジサイ | 6月~8月 | 大江山(大江町仏性寺) |
| ススキ | 10月 | 大江山(大江町) |
| 紅葉 | 11月 | 大江山(大江町) |



大江にまつわるおみやげ品

大江の特産品「えこま」を使ったおみやげ
えこまドレッシング/えこまポン酢
えこませんべい/えこまの漬 など
大江の「鬼」のついたおみやげ
鬼面瓦/鬼面もみか/鬼のどら焼き
鬼の金棒りんとう/鬼半黄
鬼せんべい/鬼そば
鬼酒/大鬼/どぶろくなど

企画・発行 福知山観光協会大江支部
大江まちづくり住民協議会 TEL:0773-56-1056

元伊勢 三社

神秘的な森と清流に神々が住む

元伊勢の由来
当社の伝承によれば、第10代崇神天皇の39年、大和笠置邑から天照大神の御神体である八咫鏡を4年間お祀りした。但波吉佐宮の旧跡といわれ、その後全国を転々と移動した後、54年後に今の伊勢神宮の地に正式に鎮座されたこととされることから、古来より元伊勢内宮皇大神社として西日本各地の崇敬を集めてきました。また、元々丹後地方に天下った神様である豊受大神をお祀りしたのが外宮で、雄略天皇の22年に天照大神の御夢によって、三重県の現地に移動されたこととされており、これこそを元伊勢外宮豊受大神社といわれています。

元伊勢内宮皇大神社
シイ林を中心とした常緑広葉樹林の自然林の中にあり、本殿は茅葺、神明造りで、八十余の小宮が本殿を中心に前後左右を囲みます。日本で二例といわれる皮のついた杉で作られた「黒木の鳥居」や推定樹齢2000年の御神木「龍灯の杉」が現存しています。

元伊勢天岩戸神社
京都府歴史的な自然環境保全地域に指定されている日室嶽(岩戸山)の下を流れる五十鈴川渓谷に祀られています。神々が座したといわれる「御坐石」や「神楽岩」など巨岩・奇岩が点在し、一帯は心洗われる「聖域」といった雰囲気をもかもしだしています。

元伊勢 外宮 豊受大神社

丹後地方に天下った農業の神様である豊受大神が祀られています。

日室嶽(岩戸山)
日室嶽(岩戸山)は、神が降臨した場所といわれています。内宮の境内から天岩戸神社へ向かう参道の途中の日室嶽湯井所から日室嶽に拝礼すれば、必ず自分の望みが叶うという「一願成就」の慣習が語り継がれています。

真下飛泉「戦友」歌碑
多くの人々に歌い継がれた「戦友」の作者、真下飛泉(本名:瀬古大江町河守出身)の歌碑です。(大江駅前)

歴史の探索

大江の歴史・文化が五感を刺激する

室尾谷山観音寺
鬼ヶ嶽山の東麓にある観音寺は、遠く和銅7年、名僧行基が大和室生寺の観音彫刻の余木を使い、本尊を設けたのが始まりといわれています。かつては広大な寺領に11坊を連ねる名刹で、本尊は秘仏として33年ごとに開扉されます。

オノ神の藤(京都府天然記念物)
樹齢1200年ともいわれる藤は、古くヤキの巨木に絡まって四方に伸び、5月上旬の「藤祭り」の前後のころ満開となります。また、オノ神は、旅路を守る道祖神で女性の神としても信仰されています。

旧京津街道(全国歴史の道100選)
今も石畳が残る高津藩の参勤交代の道で「全国歴史の道百選」に選ばれています。

大雲記念館(京都府指定有形文化財)
大雲記念館は、明治42年に建築された「日平野家住宅」を再生したもので、伝統的な和風建築様式を基本としながら、一部に西洋建築であるキングポストラサ(洋小屋)方式を採用した近代和風建築の先駆けとなる建物であり、京都府有形文化財に指定されています。

大雲塾舎
文化を通じた学習と交流拠点の施設です。各種研修会や講演会に利用できる最大80名の研修室があります。

あしぎぬ 大雲の里

由良川の穏やかな流れを眺めながら

大雲記念館(京都府指定有形文化財)
大雲記念館は、明治42年に建築された「日平野家住宅」を再生したもので、伝統的な和風建築様式を基本としながら、一部に西洋建築であるキングポストラサ(洋小屋)方式を採用した近代和風建築の先駆けとなる建物であり、京都府有形文化財に指定されています。

大雲塾舎
文化を通じた学習と交流拠点の施設です。各種研修会や講演会に利用できる最大80名の研修室があります。

大雲塾舎
文化を通じた学習と交流拠点の施設です。各種研修会や講演会に利用できる最大80名の研修室があります。

大雲塾舎
文化を通じた学習と交流拠点の施設です。各種研修会や講演会に利用できる最大80名の研修室があります。

大雲塾舎
文化を通じた学習と交流拠点の施設です。各種研修会や講演会に利用できる最大80名の研修室があります。

大雲塾舎
文化を通じた学習と交流拠点の施設です。各種研修会や講演会に利用できる最大80名の研修室があります。

体験

毛原樹田農業体験(日本の棚田100選)

日本の棚田100選にも選ばれた毛原の棚田では、「農業体験(体感)ツアー」や「棚田オーナー制度」を実施しています。

大江山一斉登山
毎年5月の最終日曜日に、福知山市、宮津市、与謝野町の5つの登山口から「鬼伝説の山」大江山の山頂を目指して登ります。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

童心に返って 思い出づくり

鬼力の由良川夏まつり

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。

和紙伝承館
展示室には、紙漉きの工程を写真や資料、DVDで紹介しています。また、体験工房では、紙漉きの体験ができ、色紙や便箋などの製作が体験できます。(10名以上で事前予約制) 開館日は土・日・祝日(12/28~1/3除く)です。